

2022 10月

Vol.36

京丹波森林組合 も も り 森 林 の 便 り

組合員に信頼される組織体制の確立を目指して



(瑞穂地区質美東谷から南方向 北久保・下山方面の遠景 / ドローンにて撮影)



発行:京丹波森林組合

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄木下 9 番地

TEL. 0771-84-0086 FAX. 0771-84-1018 / 企画・編集: 総務課



● ● ● ● ● ● ● ご存じでしたか? ● ● ● ● ● ● ●

日本三大祭りのひとつであり、京都の夏の風物詩である『祇園祭』。3年ぶりに山鉾巡行と神輿渡御が執り行われました。その中でも「休山」であった『鷹山』が196年ぶりに復帰して注目を集めましたが、その屋根の上にそびえ立つ『真松』、実は京丹波町で育った松の木が使われていたのです。

京丹波町内で復原作業が行なわれた事もあり、京丹波町で育った木を「真松」として、京丹波森林組合が伐採し、京都市内の鉾建て現場まで運搬して納めさせて頂きました。



枝を折らないよう、傷つかないようにクレーンで吊り上げての伐採!!



長さ13m! 運搬中に風で枝が折れないように保護。
安全運転で早朝出発!!



鉾建てが行われる京都市内の三条通と新町通の交差点に「鷹山保存会」の皆様と多くの報道陣がお出迎えの中、無事到着!!



お引渡し前の最後のお化粧。



大きな枝を揺らして雄大に!
誇らしげに青空の下山鉾巡行!!!



森林環境教育事業について

丹波ひかり小学校を対象とした森林環境教育事業を今年度も行っています。昨年度の反省を踏まえ、より楽しく、より分かりやすく森林について学習できるよう取り組んで参りました。今年度の様子を少しご紹介します。



◀ 林業を見学した3年生

3年生では地域で働く人について学習する単元があるため、森林環境教育では林業について学習する学年に位置付けています。普段見ることがない作業の様子や重機が動いている様子を見学し、仕事の工夫に着目してまとめ活動を行いました。

学校林活動の4年生 ➡

現5年生が開拓した学校林を4年生が改良しています。道具の扱い方、木の切り方を学び、学校林で実現したいことに向けて技術を習得していきます。今年はどんなモノ・コトを学校林で作るのか楽しみです。



◀ 登山ガイドを行った5年生

5年生では遠足の一環で美女山に登りました。初夏の日差しが眩しい中でしたが、森林内は涼しくクラス全員登りきることが出来ました。写真は山頂から学校に向けて合図を送っている様子です。



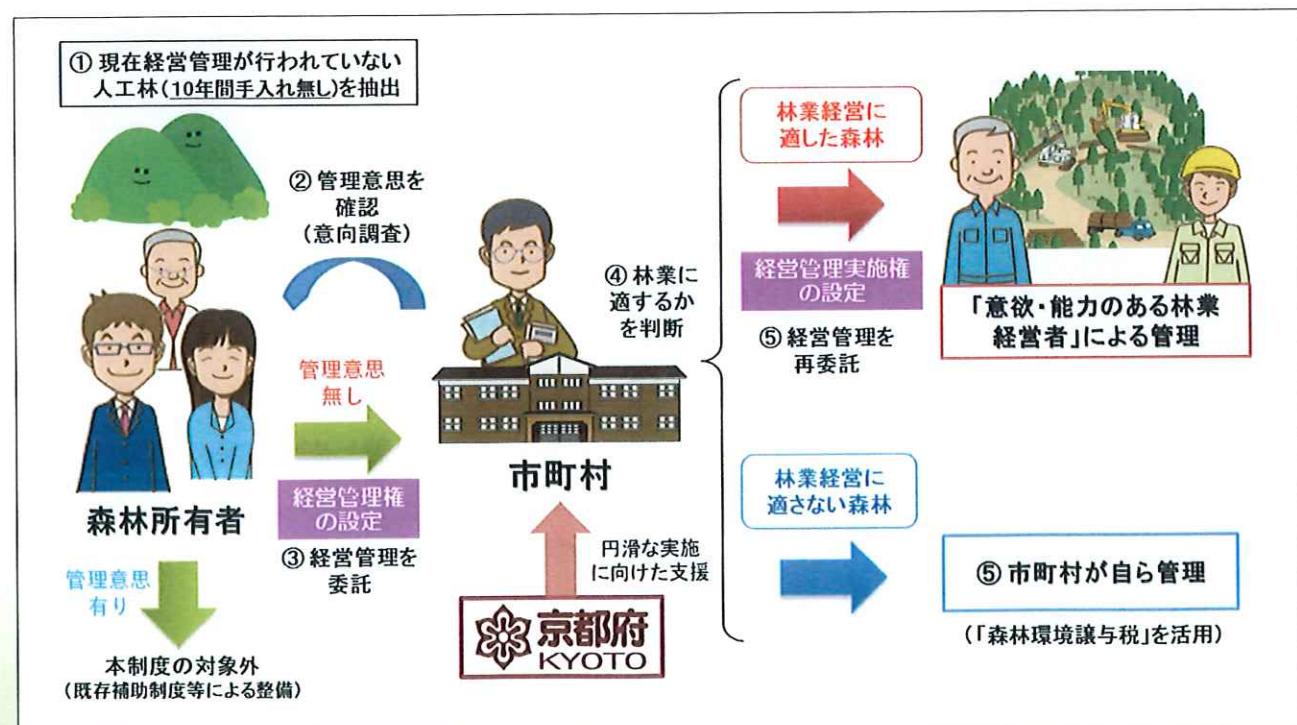
京丹波町での森林環境譲与税の活用

京丹波町では、民有林を対象に過去10年間に間伐等の施業履歴が無い、または、「森林經營計画」が樹立されていない森林について、森林環境譲与税を活かした取り組みが令和2年度より進められています。

令和3年度には丹波地区の富田区・豊田区と瑞穂地区の井尻区・八田区の森林で調査の対象とする区域を定め、区域内の森林所有者の皆様に所有林の今後の管理等についての意向調査を行いました。その結果、回答者の内約75%にあたる方が、「所有森林の經營管理を町に委託することで検討する」と回答されています。

また本年度につきましても引き続き同じ区域の森林を対象に、現地に出向き、人工林（スギ・ヒノキ）の所有者界の確認と森林所有者ごとの境界の明示作業に取り組むこととなり、早速に各区林業推進委員様にご協力を願いし、説明会等も開催し10月中旬頃からは現地での境界確認を始める計画としています。こうした町の取り組みにつきましては、今後も町内の森林を対象に継続されることになります。意向調査に基づき、今後所有森林の經營管理を委託するにあたっても、所有森林の境界の確定は大変重要なことです。今後皆様の大切な森林が調査等の対象となりましたらご協力をお願いいたします。

下記の図につきましてはこうした取り組みについての制度の概要になります。



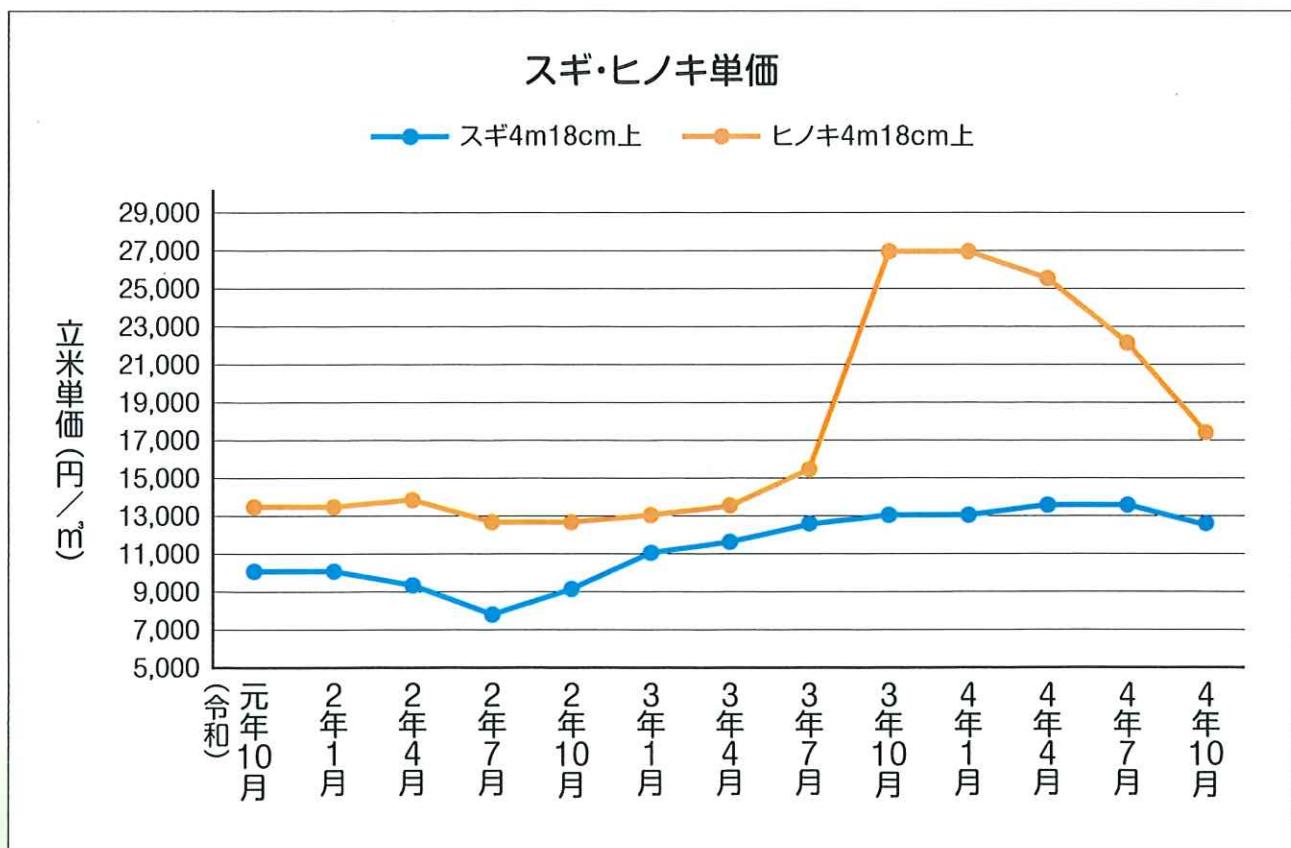
スギ・ヒノキ原木価格の推移について

「ウッドショック」と言う言葉を耳にした方も多いのではないでしょうか？建築用木材の供給が需要に追いつかず、世界的に木材価格が高騰しており「ウッドショック」と呼ばれています。

「ウッドショック」が起きた原因は、新型コロナウイルスの感染拡大にあるといわれており、アメリカや中国でコロナ禍の対策として、住宅ローンの金利を下げたことや在宅ワークの増加等により住宅需要が高まったことで輸入材が調達しにくくなつたことが原因とされています。

「ウッドショック」により日本でも十分な量の輸入材が調達しにくくなり国産材の需要が求められ、国産材価格も上がっておりいつまで続くかは不透明であると言われています。下のグラフは合板用丸太原木価格の変動をあらわしたもので、スギにおいてもこの春をピークにウッドショック以前にもどってしまいつつあります。先が読めないのが正直な所ですが国産材価格がふたたび高水準を保つことを願いたいものです。

林ベニヤ直送価格



森林調査用無人航空機の活用

令和4年4月に森林調査用無人航空機（以下、「ドローン」という）を導入しました。

ドローンを活用することで上空から森林の現況及び地形が把握でき、現地踏査に要した時間も短縮ができ、より実行性の高い施業計画の立案ができます。また、植栽木を守る獣害防護柵の点検も行い、破損箇所の早期発見もでき、労働の軽減が図れ、幅広く活用することができます。

また、本年7月3日には、京丹波町に1時間に約100ミリを記録する集中豪雨があり、特に町の南部に位置する瑞穂地区では、この豪雨により森林では山腹崩壊等の災害が発生したため、ドローンを活用し、災害状況の調査にあたりました。



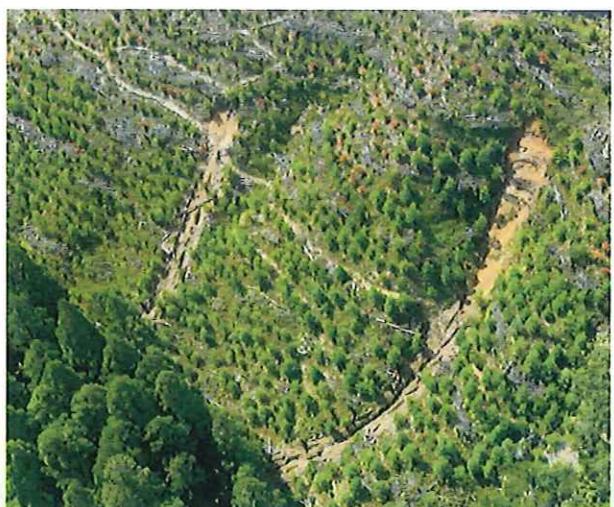
（ドローン本機）



（獣害防護柵点検）



（豪雨災害調査/大朴地区）



（豪雨災害調査/質美地区）

林道・作業道の災害復旧事業について

令和4年7月3日の昼過ぎに、1時間に約100ミリを記録する集中豪雨があり、気象庁は「記録的短時間大雨情報」を京丹波町に発表しました。特に町の南部に位置する瑞穂地区では、民家などが床下浸水するなどの被害が発生し、森林においても、集中豪雨が原因と見られる土砂崩れなどが起こりました。

「森林経営計画」を樹立し町より認定されている集約化した森林については、森林所有者と森林組合が森林経営委託契約を結んでいますので、森林組合で調査を行っています。また、貴区の森林で災害が発生し復旧が必要な作業道などがありましたら森林組合までお気軽にご相談ください。

災害復旧工事が必要な場合は、町の災害復旧支援事業の摘要を受け進めることになります。

災害復旧支援事業の摘要範囲

京丹波町の災害復旧工事支援の対象とされるのは、町の林道・作業道台帳に登載されている路線、並びに令和3年度に森林経営計画の認定を受け、開設した作業道。

参考

京丹波町の災害復旧工事費の支援

林道・作業道復旧の場合

・事業主体：区などの組織

・補助率：事業費が20万円以上200万円未満内の50%を補助



崩土により塞がれた作業道



山の中腹からの崩土

※町より各区長様あてに「令和4年度7月豪雨」に係る災害復旧支援事業についての申請書類など詳細が書かれた書類が送られていますので区長様ともご相談してください。

京丹波森林組合感謝DAYの開催について

毎年恒例になっております森林組合感謝DAYを今年も12月上旬に和知地区本庄の森林組合事務所前と瑞穂地区橋爪桧山の森林組合瑞穂支所前を会場に開催予定としています。

今年も草刈機・チェーンソー等の機械器具の無料点検やチェーンソー取扱安全研修会等の開催、機械類・山林道具やバークたい肥、のり網等の販売を予定しています。詳しい内容は後日お知らせいたします。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

組合員名義変更手続きのお願い

組合員様の異動（名義変更・加入・脱退）につきましては、京丹波森林組合定款に基づき、ご本人（又は相続・譲渡等により譲り受けられた方）からの申請によつてのみ変更等の手続きが出来ることとなっております。異動に伴う各種手続きにつきましては、組合事務所でも隨時対応しておりますのでお問い合わせをお待ちしております。また、遠方の方につきましては、郵送等でのやり取りも可能ですので、よろしくお願い致します。

※現在有効な出資証券は、森林組合合併以降の平成18年12月20日付けの京丹波森林組合発行の証券のみとなっております。